

平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査期日 平成22年4月20日(火)

(3) 調査方式

○抽出調査

- ・都道府県毎に平均正答率が95%の確率で誤差1%以内となるよう抽出率を設定
- ・学校単位でのランダム抽出
- ・全国の抽出率 全体 30.7% (小学校25.3%、中学校41.5%)
- ・山口県の抽出率 全体 37.2% (小学校31.3%、中学校48.8%)

(4) 4月20日に調査を実施した抽出学校数・児童生徒数

| 学 年 | 学 校 数 | 児 童 生 徒 数 |
|---------|-----------|------------|
| 小学校第6学年 | 公立小学校 99校 | 児 童 4,024人 |
| 中学校第3学年 | 公立中学校 79校 | 生 徒 5,943人 |

(5) 調査内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

問題A…主として「知識」に関する問題

問題B…主として「活用」に関する問題

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査【小学校…77項目 中学校…77項目】

イ 学校に対する調査【小学校…93項目 中学校…92項目】

2 結果概要(県市町立学校)

(1) 教科に関する結果

① 全体の結果

- 平均正答数を山口県と全国とで比べると、小・中学校ともに、全国平均を上回る結果である。

小学校では、過去4年間で最も高い結果であり、国語A・B、算数Bで全国平均を上回っている。

中学校では、国語A・B、数学A・Bの全てで全国平均を上回り、平成19年度の小学校6年生時点での調査結果と比較し、大きく伸びている。

- 小・中学校ともに、「活用」に関する問題の平均正答数が全国平均を上回るなど、課題の改善がみられる。

② 教科ごとの結果

【小学校国語】

- ・問題A：全国平均を上回っており、昨年度に比べ上昇している。
- ・問題B：全国平均を上回っており、昨年度に比べ上昇している。

【小学校算数】

- ・問題A：全国平均レベルである。
- ・問題B：全国平均を上回っており、昨年度に比べ上昇している。

【中学校国語】

- ・問題A：全国平均を上回っている。
- ・問題B：全国平均を上回っている。

【中学校数学】

- ・問題A：全国平均を上回っている。
- ・問題B：全国平均を上回っている。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する結果

① 児童生徒に対する調査

【望ましい状況】

- 普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると感じたり、友達と話し合う活動を行っていると感じている子どもの割合が、前年度に比べ増加し、全国と比べて高い状況。
- 探究的な学習を行う「総合的な学習の時間」の勉強について、好きと感じたり、普段の生活や社会に出たとき役に立つと感じている子どもの割合が、前年度に比べ増加し、全国と比べて高い状況。
- 決まりを守る子ども、人の役に立ちたいと思う子ども、近所の人へあいさつする子どもの割合は、全国と比べて高い状況。

【課題とみられる状況】

- 解答時間が十分ではなかったと感じた子どもの割合が、全国と比べて高い状況。
- 学校の授業時間以外での学習時間が、平日、土・日とも、年度ごとに改善傾向にあるが、全国と比べて低い状況。
- 家で自分で計画を立てて学習している児童の割合が、年度ごとに改善傾向にあるが、小学校は全国と比べて低い状況。

② 学校に対する調査

【望ましい状況】

- 昨年度の調査問題を当該学年や他学年の授業の中で活用した学校の割合は、年度ごとに増加しており、全国と比べて高い傾向。
- 昨年度調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行ったり、自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行ったりしている学校の割合は、前年度に比べ大きく増加し、全国と比べて高い傾向。
- 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校の割合は、全国と比べて高い傾向。職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合は、年度ごとに増加傾向にあり、全国と比べて高い傾向。

【課題とみられる状況】

- 授業研究を伴う校内研修の実施回数、校長による授業参観の頻度は、前年度に比べて改善しているものの、全国と比べて低い傾向。
- 放課後を活用した補充学習を実施した小学校は、全国と比べて低い傾向。
- 地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設定している学校の割合、学校の教育活動の情報提供についてホームページを更新する頻度、地域人材のボランティアによる授業サポートを行っている学校の割合は、前年度より改善しているものの、全国と比べて低い傾向。

(3) 今後の対応

重点取組事項として次の4つの柱をもとに、県・市町教委の連携を一層強化し、学校、家庭、地域社会が一体となって、子どもたち一人ひとりの「確かな学力」の定着と向上に向けた取組を全力で進める。

第1に「学校の組織的な取組の強化」を進め、学校ぐるみで課題を共有し、解決に向けたビジョンを明確にし、全校体制で課題解決を図る。このため、県・市町教委とが連携し、学校を訪問し、指導主事による授業提供を行うなど、授業改善の取組を支援する。

第2に、「教員の授業力の向上」を進め、各学校で、授業評価シートの活用やワークショップ型研修等を工夫して授業研究を進め、更なる校内研修の活性化に努める。

第3に、「学習内容の充実と指導の工夫改善」として、思考力、表現力等を高めるため県教委と現場の教員とが開発した「やまぐち学習支援プログラム」、及び到達状況が確認できる「学力状況確認システム」の一層の充実・活用を図る。

第4に、「家庭・地域社会との連携」を一層強化し、各学校では、子どもたちの学力の現状や学校としての取組について、保護者や地域社会に対する情報提供を進める。また、県教委では、学校や家庭で基本問題に取り組むことができるよう、学習プリントを作成し各学校へ提供するとともに、Webで公開するなどして、児童生徒の自主的な学習習慣の形成を支援する。

3 参考データ等

(1) 教科の結果

○ 平均正答数

【小学校】

| 区分 | 平均正答数 (問) | |
|-----|-----------|---------|
| | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 12.6/15 | 12.5/15 |
| 国語B | 7.9/10 | 7.8/10 |
| 算数A | 14.1/19 | 14.1/19 |
| 算数B | 6.0/12 | 5.9/12 |

【中学校】

| 区分 | 平均正答数 (問) | |
|-----|-----------|---------|
| | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 26.5/35 | 26.3/35 |
| 国語B | 6.7/10 | 6.5/10 |
| 数学A | 23.8/36 | 23.3/36 |
| 数学B | 6.3/14 | 6.1/14 |

○ 平均正答率

【小学校】

| 区分 | 平均正答率95%信頼区間 (%) | | 目盛りは誤差の値 (%) | | | | |
|-----|------------------|-----------|--------------|---|---|---|---|
| | 山口県 | 全 国 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 国語A | 山口県 | 83.2~84.5 | | | | | |
| | 全国 | 83.2~83.5 | | | | | |
| 国語B | 山口県 | 78.1~80.2 | | | | | |
| | 全国 | 77.7~78.0 | | | | | |
| 算数A | 山口県 | 73.2~74.9 | | | | | |
| | 全国 | 74.0~74.4 | | | | | |
| 算数B | 山口県 | 49.2~51.0 | | | | | |
| | 全国 | 49.1~49.5 | | | | | |

【中学校】

| 区分 | 平均正答率95%信頼区間 (%) | | 目盛りは誤差の値 (%) | | | | |
|-----|------------------|-----------|--------------|---|---|---|---|
| | 山口県 | 全 国 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 国語A | 山口県 | 75.0~76.4 | | | | | |
| | 全国 | 75.0~75.2 | | | | | |
| 国語B | 山口県 | 66.0~67.9 | | | | | |
| | 全国 | 65.1~65.5 | | | | | |
| 数学A | 山口県 | 65.2~67.3 | | | | | |
| | 全国 | 64.4~64.8 | | | | | |
| 数学B | 山口県 | 43.9~46.3 | | | | | |
| | 全国 | 43.1~43.5 | | | | | |

※ 文部科学省は、抽出調査を踏まえ、「平均正答率の95%信頼区間（誤差を含めた幅をもった数値）」で公表。

【参考：平成21年度】

○小学校

| 区分 | 平均正答数 (問) | | 平均正答率 (%) | |
|-----|-----------|---------|-----------|------|
| | 山口県 | 全 国 | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 12.4/18 | 12.6/18 | 68.6 | 69.9 |
| 国語B | 5.0/10 | 5.1/10 | 49.6 | 50.5 |
| 算数A | 14.1/18 | 14.2/18 | 78.6 | 78.7 |
| 算数B | 7.4/14 | 7.7/14 | 52.8 | 54.8 |

○中学校

| 区分 | 平均正答数 (問) | | 平均正答率 (%) | |
|-----|-----------|---------|-----------|------|
| | 山口県 | 全 国 | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 25.7/33 | 25.4/33 | 78.0 | 77.0 |
| 国語B | 8.4/11 | 8.2/11 | 76.3 | 74.5 |
| 数学A | 21.1/33 | 20.7/33 | 64.0 | 62.7 |
| 数学B | 8.8/15 | 8.5/15 | 58.6 | 56.9 |

【参考：平成20年度】

○小学校

| 区分 | 平均正答数 (問) | | 平均正答率 (%) | |
|-----|-----------|---------|-----------|------|
| | 山口県 | 全 国 | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 11.4/18 | 11.8/18 | 63.4 | 65.4 |
| 国語B | 5.7/12 | 6.1/12 | 47.5 | 50.5 |
| 算数A | 13.1/19 | 13.7/19 | 69.2 | 72.2 |
| 算数B | 6.3/13 | 6.7/13 | 48.7 | 51.6 |

○中学校

| 区分 | 平均正答数 (問) | | 平均正答率 (%) | |
|-----|-----------|---------|-----------|------|
| | 山口県 | 全 国 | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 25.2/34 | 25.0/34 | 74.2 | 73.6 |
| 国語B | 6.1/10 | 6.1/10 | 60.7 | 60.8 |
| 数学A | 22.8/36 | 22.7/36 | 63.3 | 63.1 |
| 数学B | 7.5/15 | 7.4/15 | 50.0 | 49.2 |

【参考：平成19年度】

○小学校

| 区分 | 平均正答数 (問) | | 平均正答率 (%) | |
|-----|-----------|---------|-----------|------|
| | 山口県 | 全 国 | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 14.5/18 | 14.7/18 | 80.6 | 81.7 |
| 国語B | 6.0/10 | 6.2/10 | 60.0 | 62.0 |
| 算数A | 15.3/19 | 15.6/19 | 80.5 | 82.1 |
| 算数B | 8.7/14 | 8.9/14 | 62.1 | 63.6 |

○中学校

| 区分 | 平均正答数 (問) | | 平均正答率 (%) | |
|-----|-----------|---------|-----------|------|
| | 山口県 | 全 国 | 山口県 | 全 国 |
| 国語A | 30.6/37 | 30.2/37 | 82.7 | 81.6 |
| 国語B | 7.3/10 | 7.2/10 | 73.0 | 72.0 |
| 数学A | 26.4/36 | 25.9/36 | 73.3 | 71.9 |
| 数学B | 10.6/17 | 10.3/17 | 62.4 | 60.6 |

(2) 各教科ごとの結果

① 小学校国語

国語Aについては、平均正答率が83.2～84.5%であり、知識・技能の定着に関しては、成果がみられる。国語Bについては、平均正答率が78.1～80.2%であり、知識・技能を活用する力は伸びてきているが、一部に課題がみられる。

【相当数の児童ができている点】

- (A) 二つの言葉を組み合わせたり、一つの言葉を二つに分けたりして書くこと。
- (B) 二つの意見文を比較し、共通点や相違点を書くこと。

【課題のある点】

- (A) 文と文の意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くこと。
- (B) 情報を関係付けて読み取り、理由を明確にして説明すること。

② 小学校算数

算数Aについては、平均正答率が73.2～74.9%であり、知識・技能の定着に一部課題がみられる。算数Bについては、平均正答率が49.2～51.0%であり、知識・技能を活用する力は伸びてきているが、一部に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- (A) 整数、小数の計算をすること。
- (B) 示された3つの円グラフから目的に合うものを選び、必要な情報を読み取ること。

【課題のある点】

- (A) 数量を等分したときの一つ分を分数で表すこと。
- (B) ある事柄が成り立つことの原因や判断の理由を記述すること。

③ 中学校国語

国語Aについては、平均正答率が75.0～76.4%であり、知識・技能の定着に一部課題がみられる。国語Bについては、平均正答率が66.0～67.9%であり、知識・技能を活用する力は伸びてきているが、一部に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- (A) 修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直すこと。
- (B) 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択すること。

【課題のある点】

- (A) 語句の意味を理解し、文脈のなかで適切に使うこと。
- (B) 資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明すること。

④ 中学校数学

数学Aについては、平均正答率が65.2～67.3%であり、知識・技能の定着に一部に課題が見られる。数学Bについては、平均正答率が43.9～46.3%であり、知識・技能を活用する力は伸びてきているが、一部に課題が見られる。

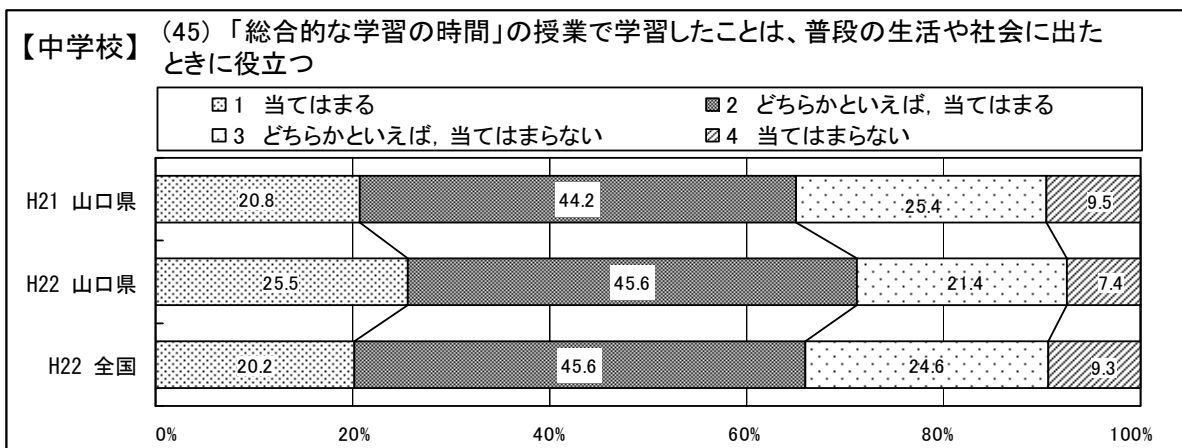
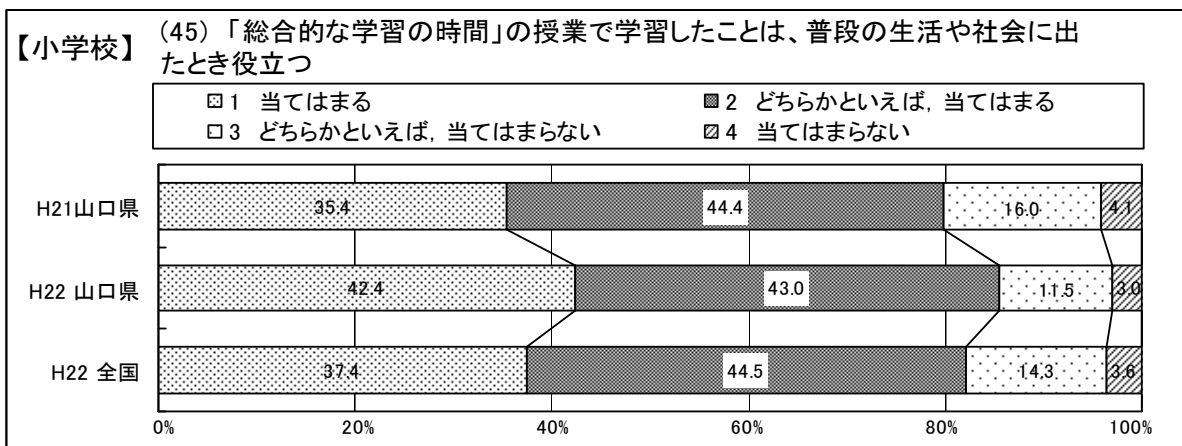
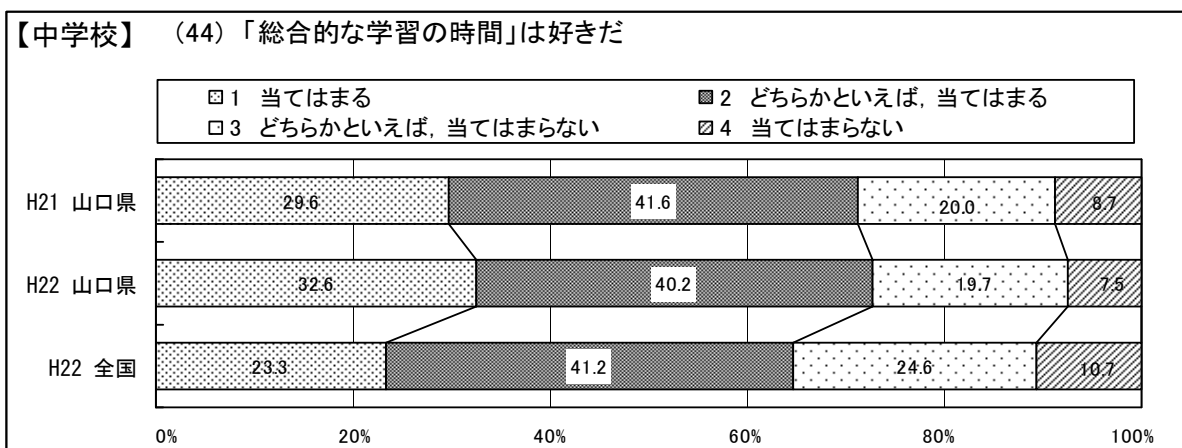
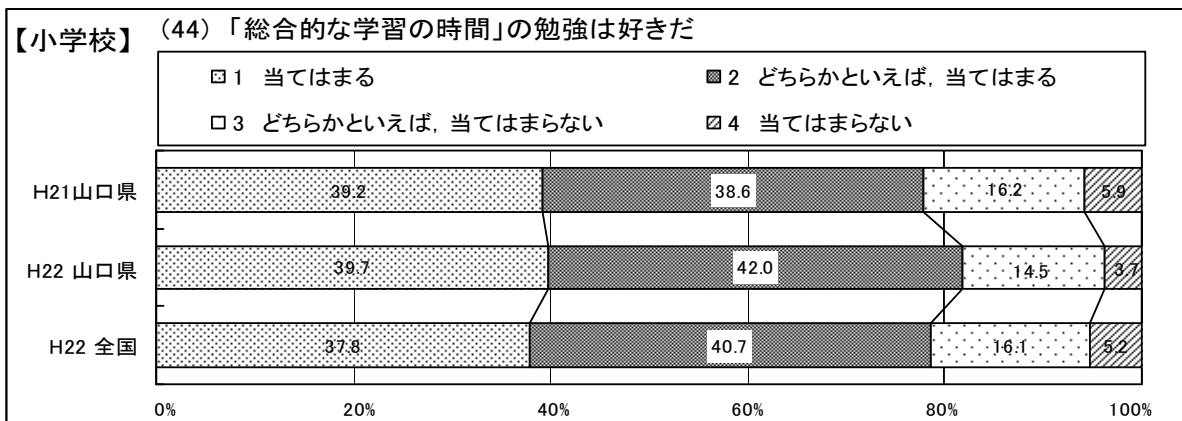
【相当数の生徒ができている点】

- (A) 文字を用いた式の表し方にしがって式を表したり、文字に数を代入して式の値を求めたりすること。
- (A) 垂線の作図の手順について理解すること。

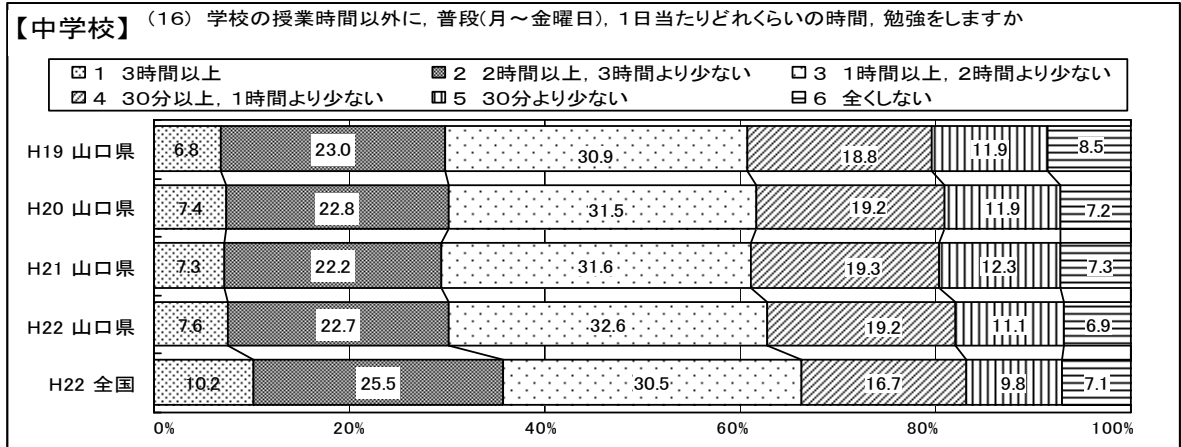
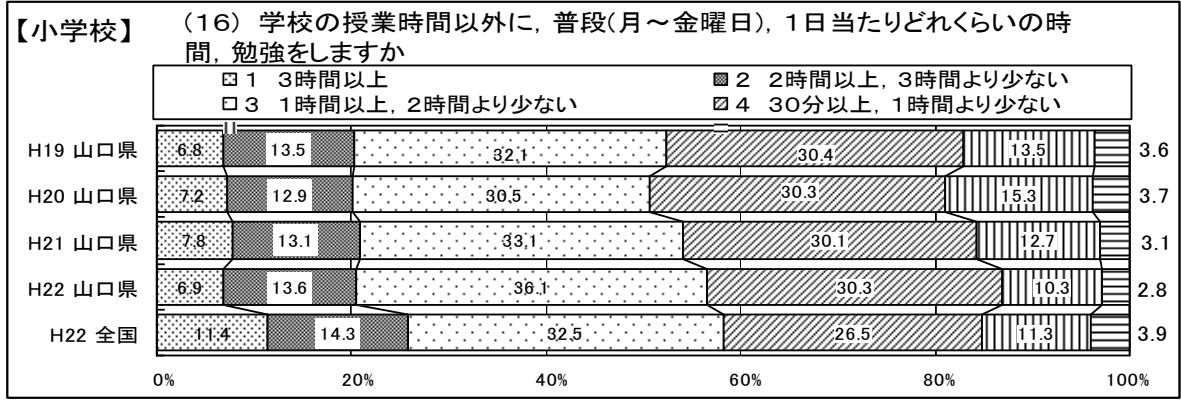
【課題のある点】

- (A) 円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めること。
- (B) 事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的に説明すること。

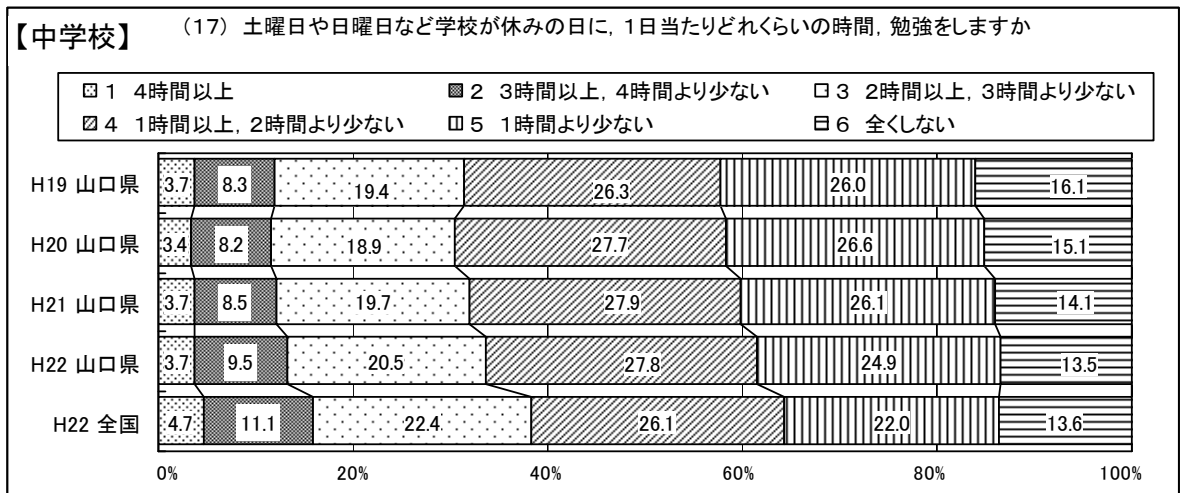
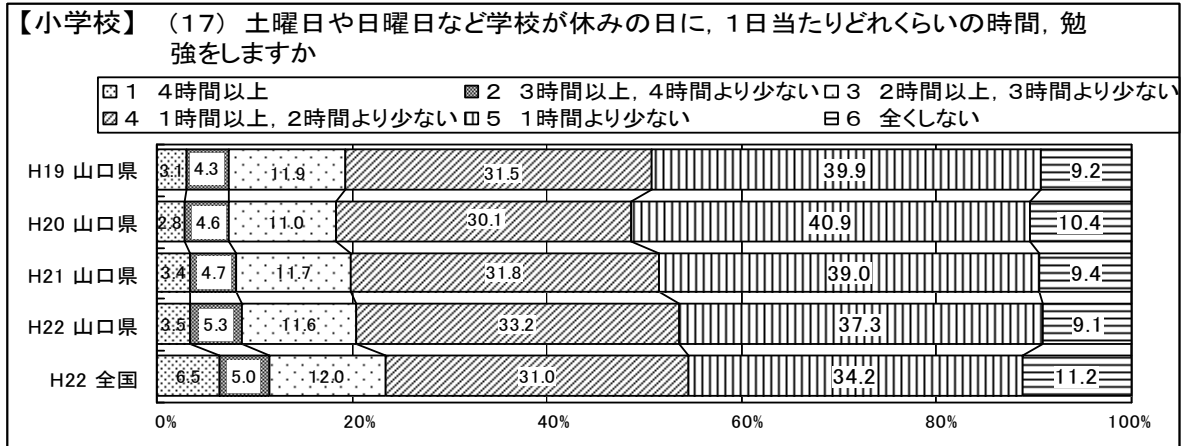
ウ 総合的な学習の時間



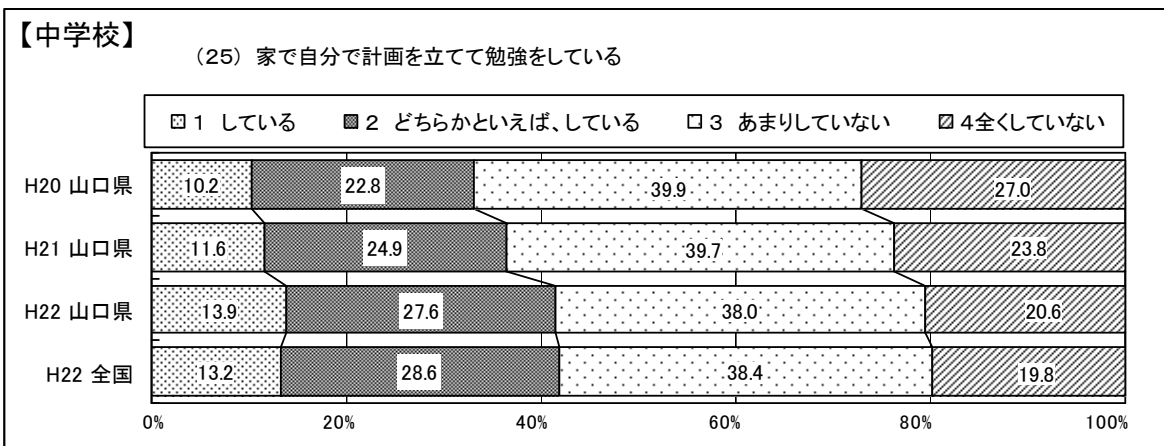
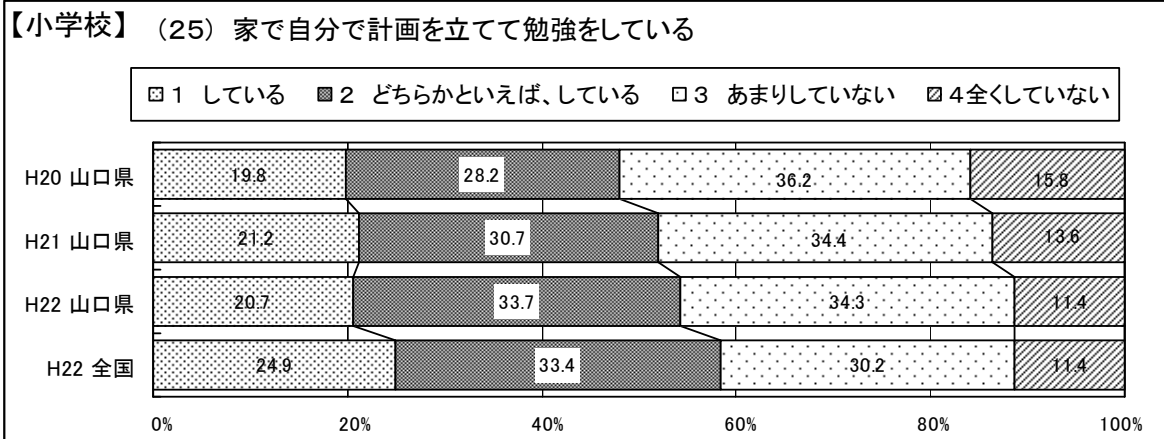
ク 学校の授業時間以外での学習時間（平日）



ケ 学校の授業時間以外での学習時間（土・日曜日）

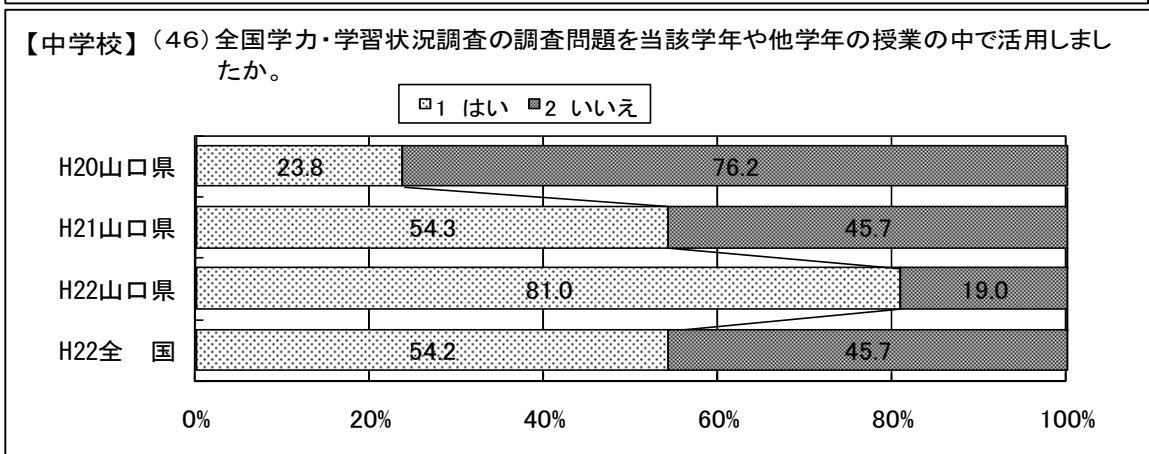
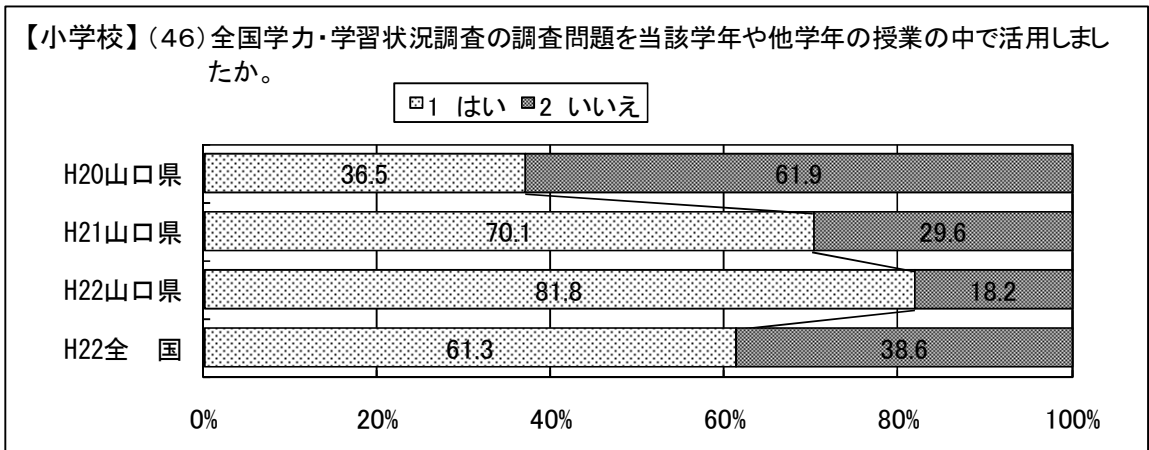


コ 家庭での計画的な学習

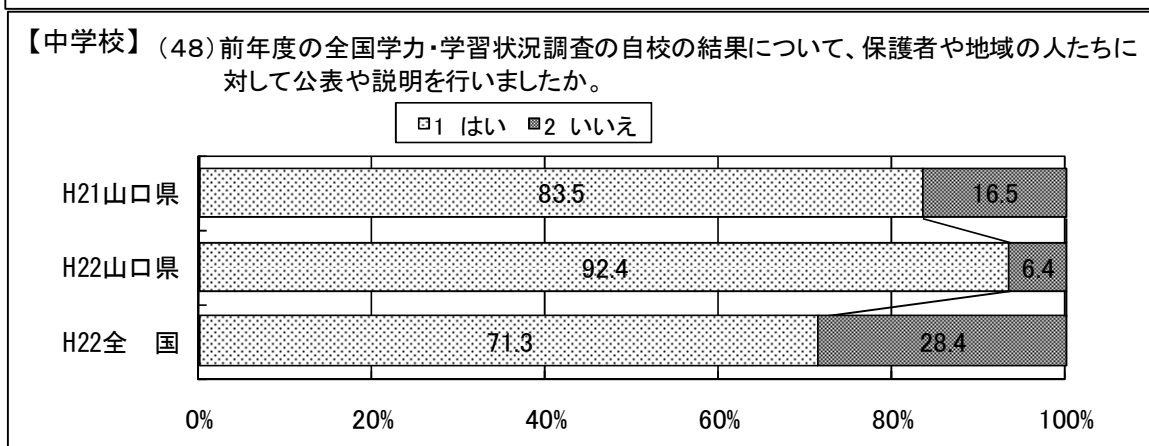
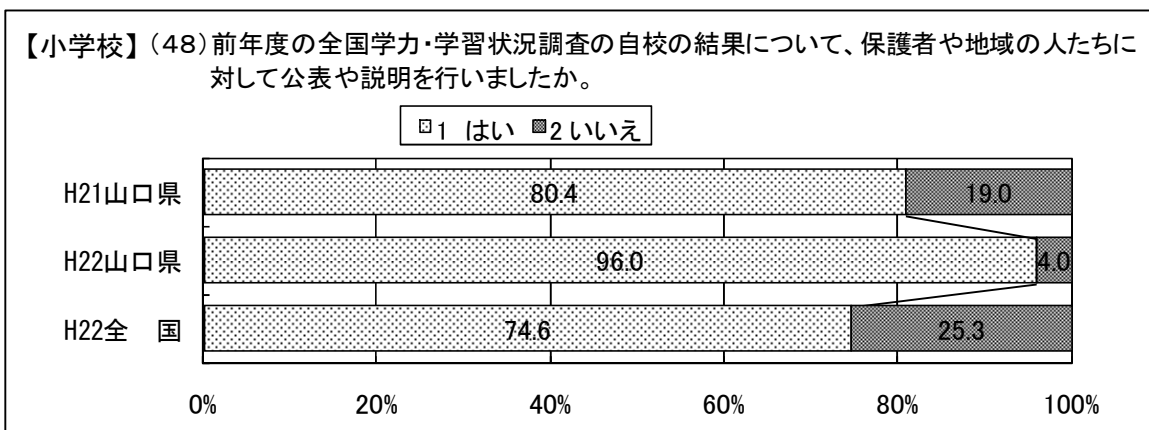


② 学校に対する調査

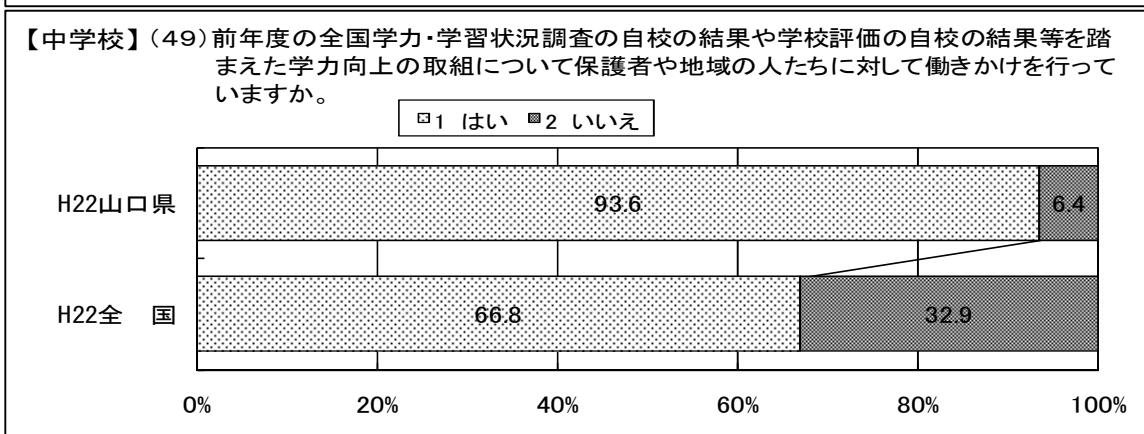
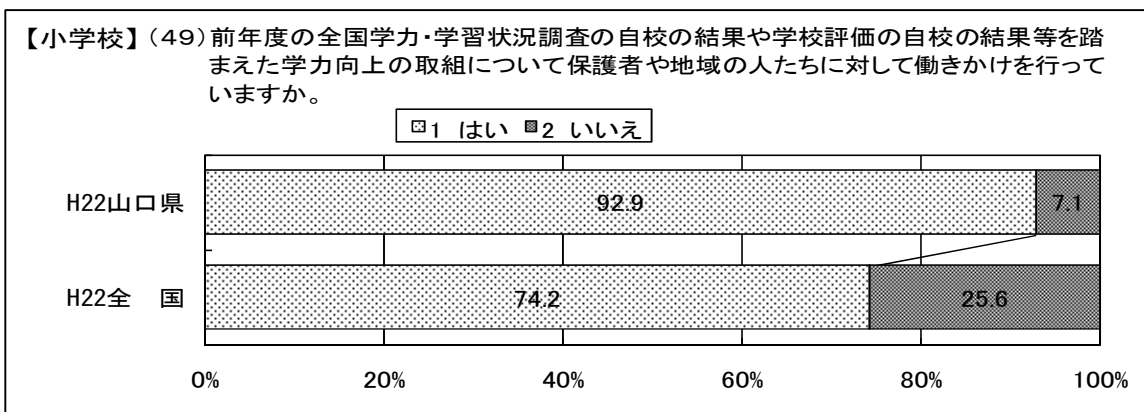
ア 前年度の調査問題の授業における活用



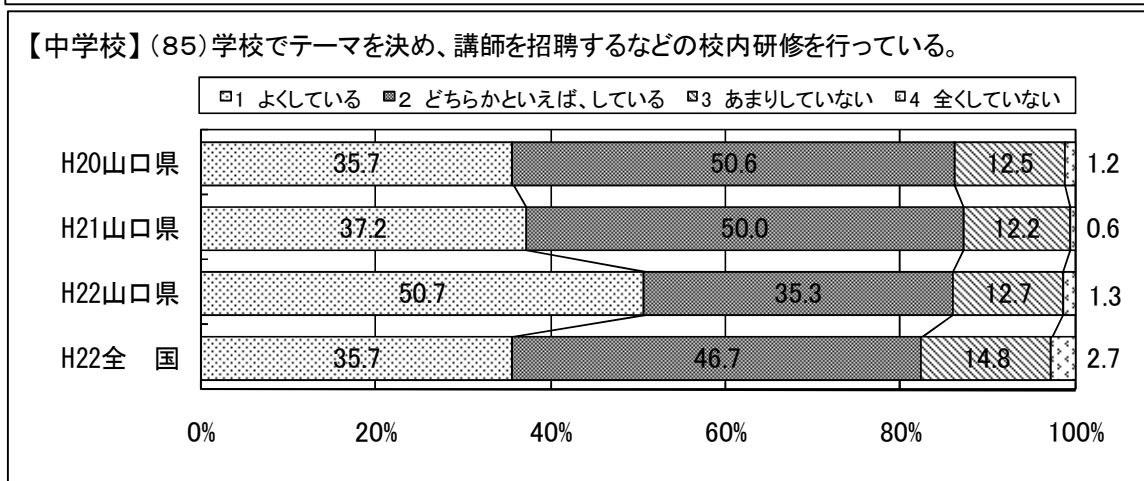
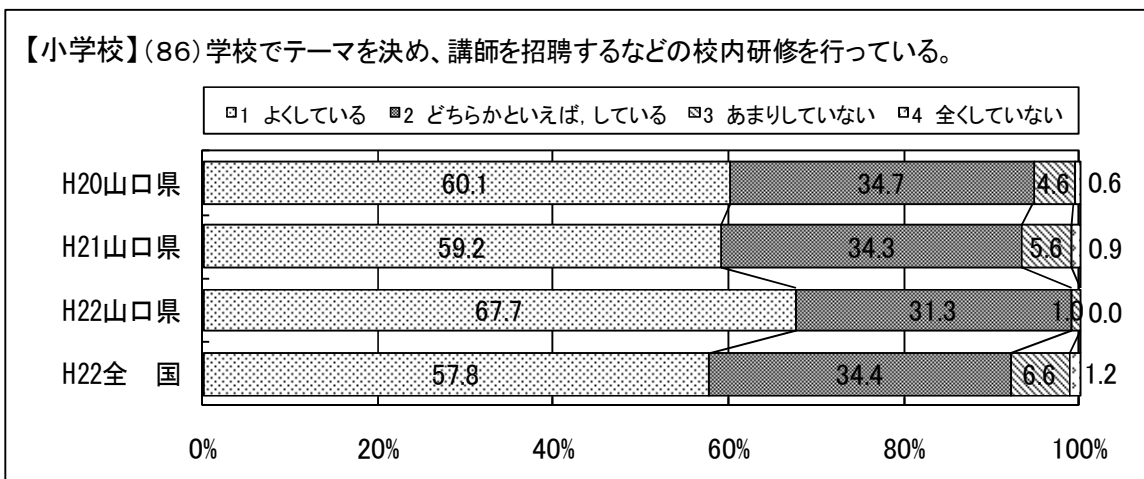
イ 全国学力・学習状況調査結果について、保護者や地域の人への公表や説明



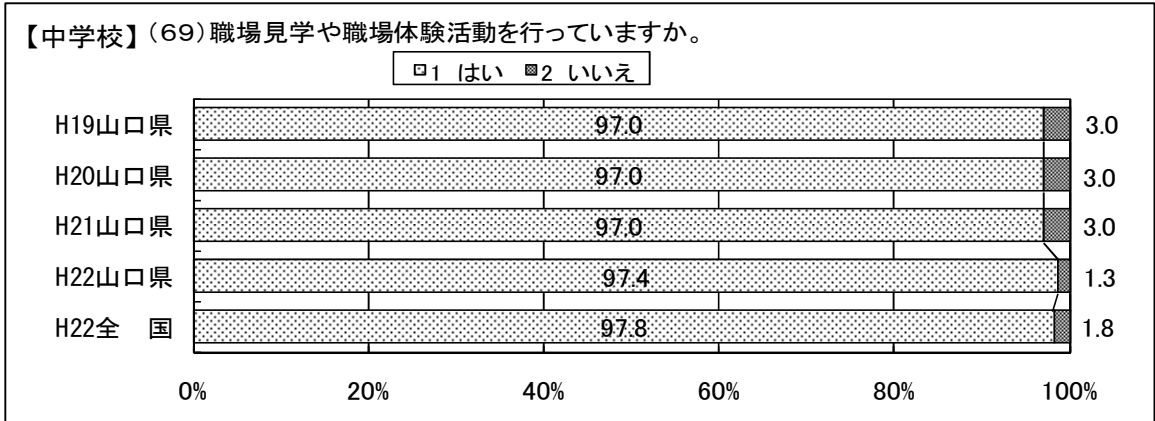
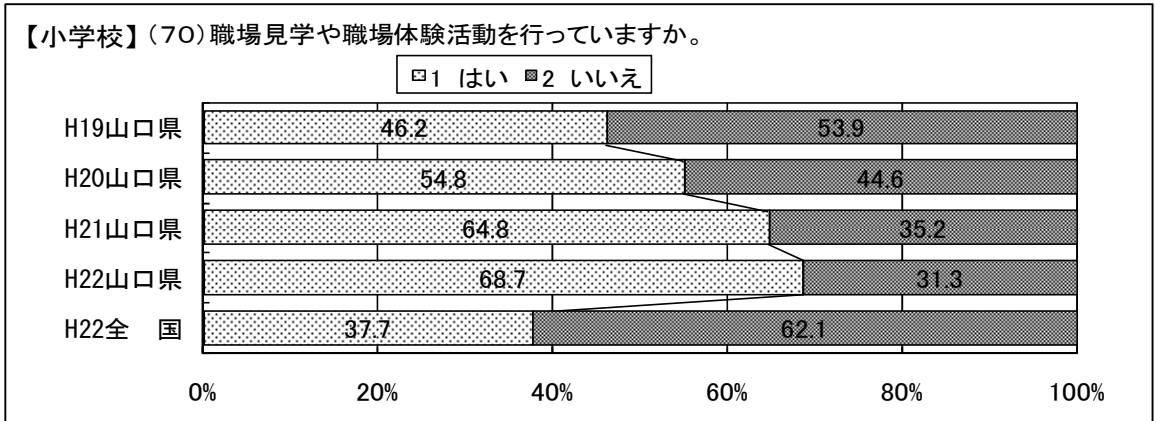
ウ 学力調査結果や学校評価結果を踏まえた保護者や地域の人への働きかけ



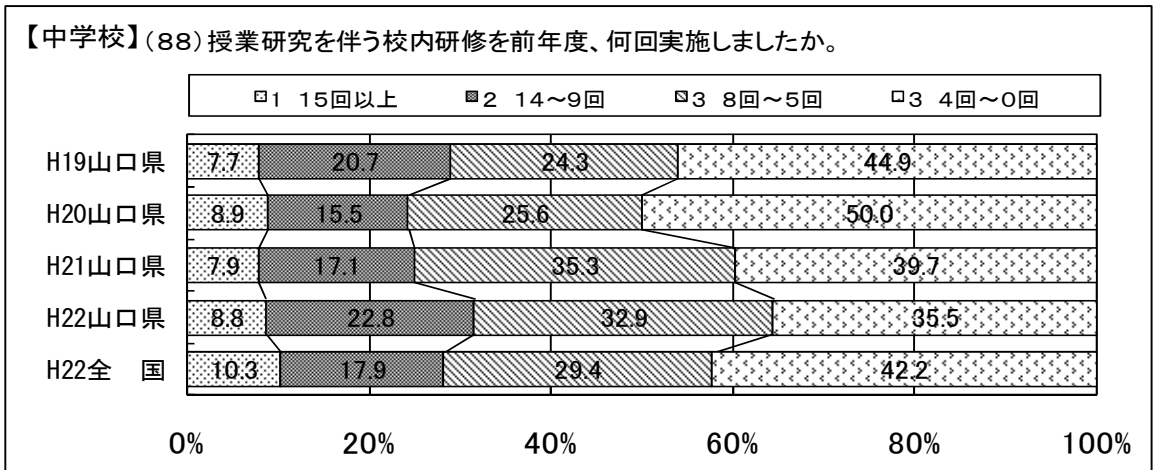
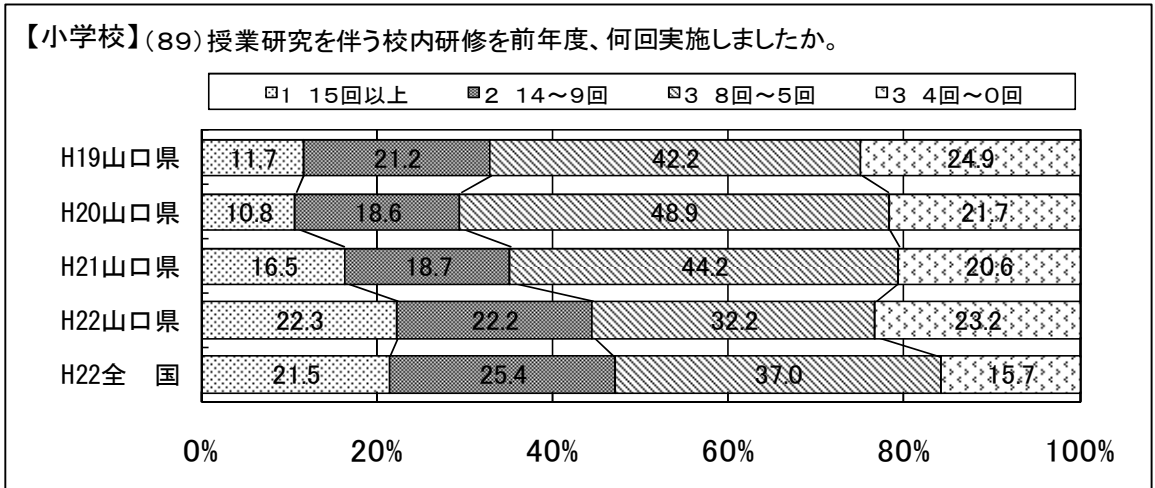
エ 講師を招聘するなどの校内研修の実施



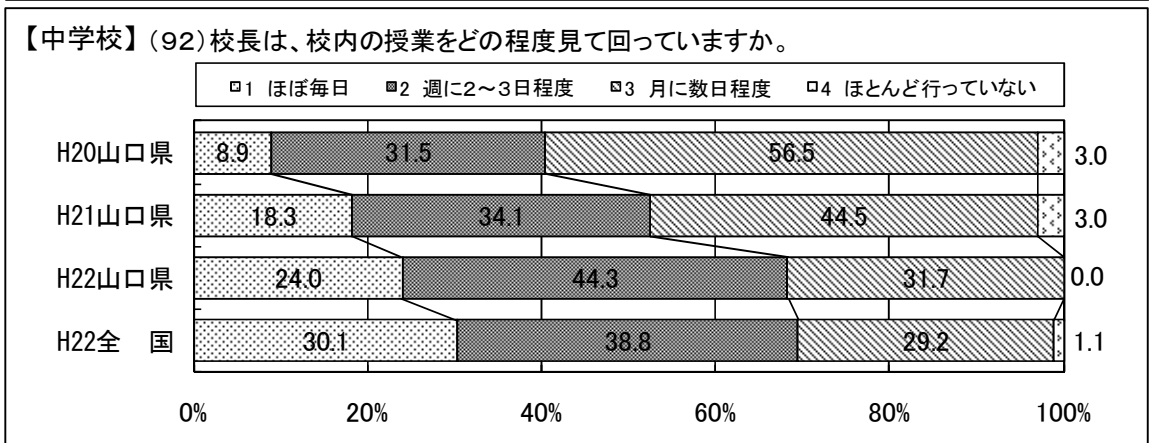
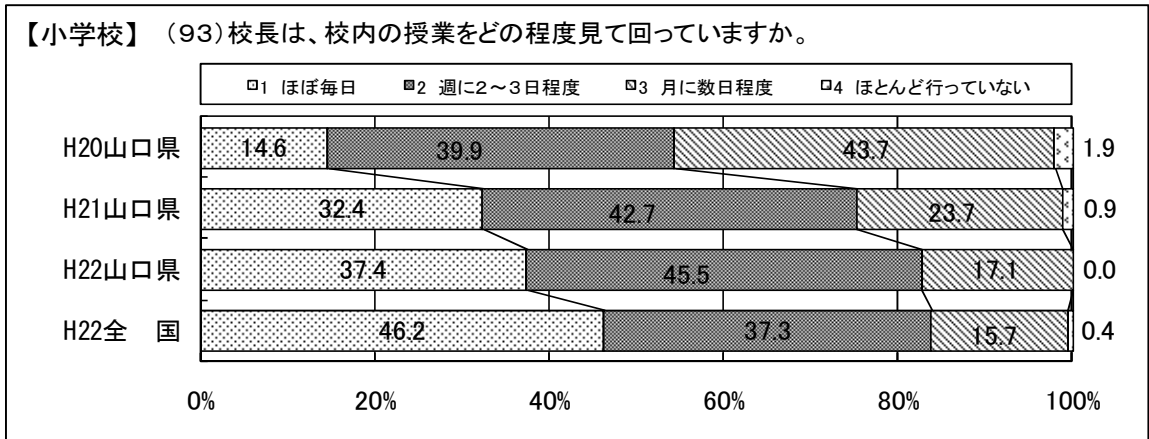
オ 職場見学や職場体験の実施



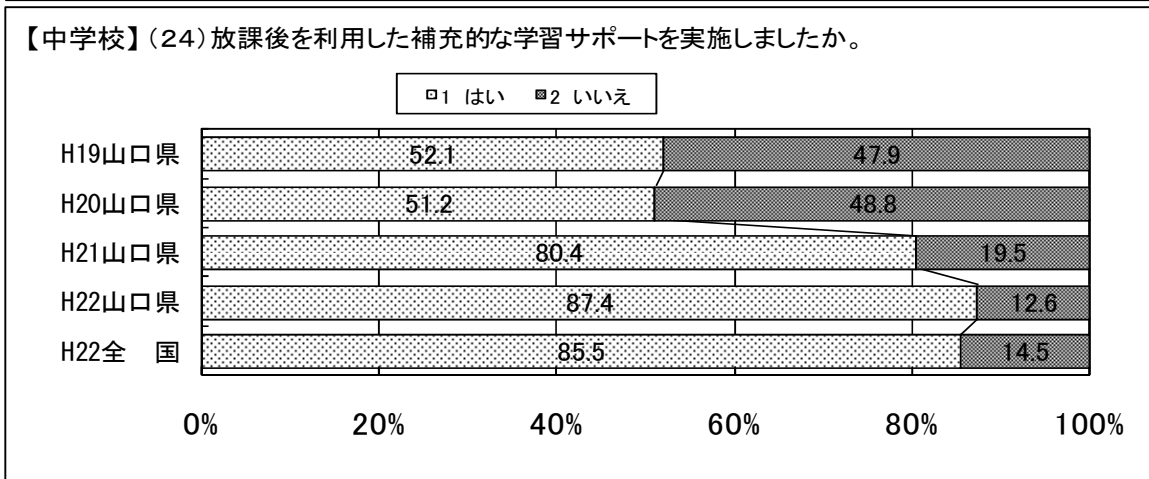
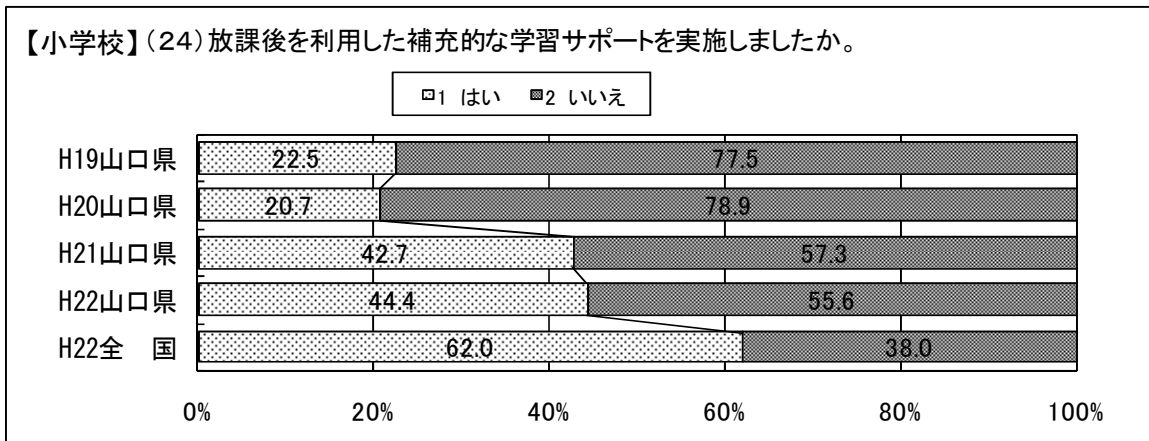
カ 授業研究を伴う校内研修の実施



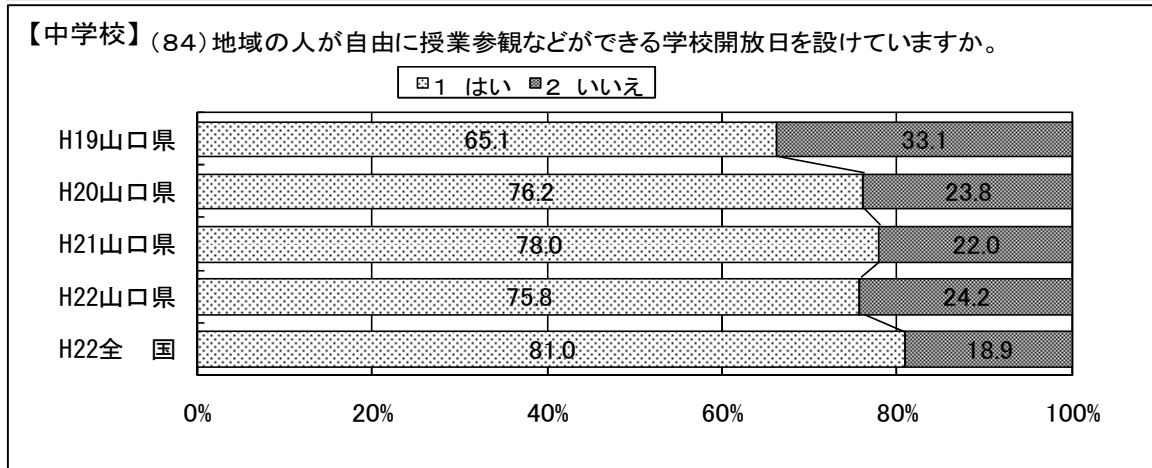
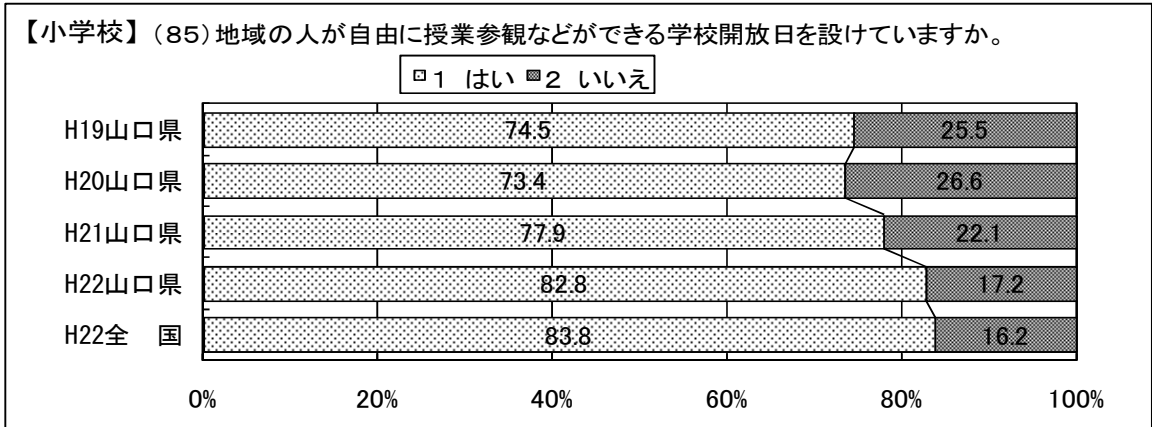
キ 校長による授業参観



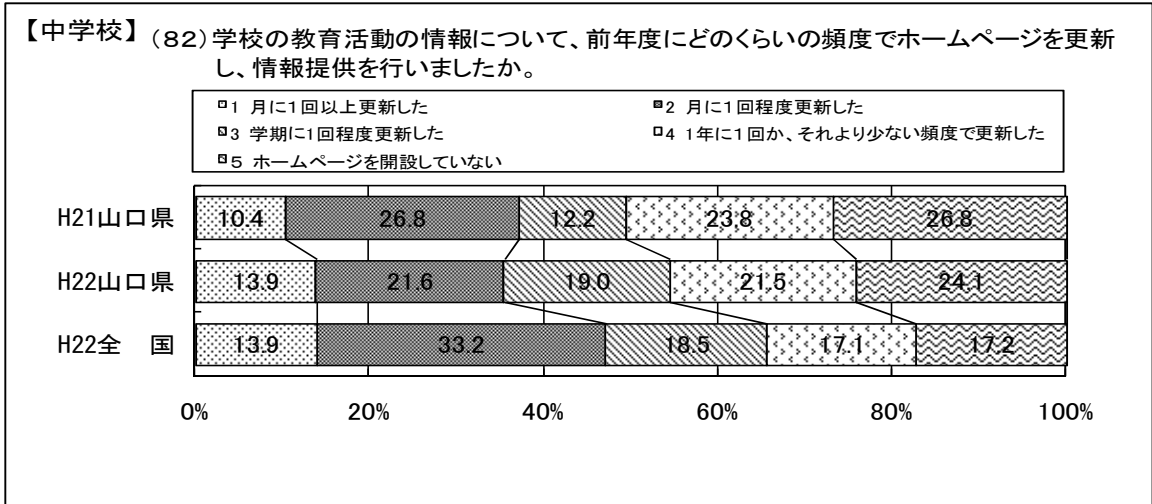
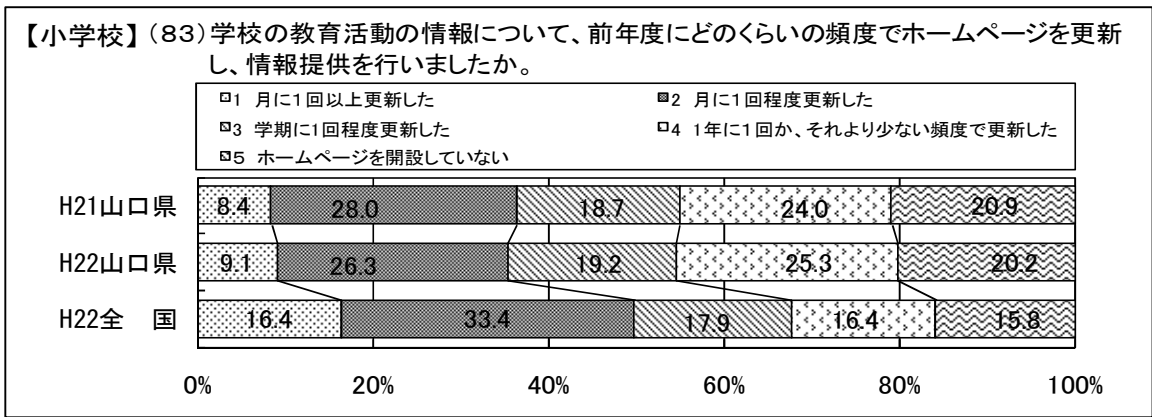
ク 放課後を活用した補充学習の実施



ケ 地域の人が自由に授業参観できる学校公開日の設定



コ 学校の教育活動を情報提供するホームページの更新



サ 地域のボランティアによる授業サポートの実施

